

なら生協連 ニュース

No.26
97.9.26

奈良県生活協同組合連合会
奈良市恋の窪1丁目2-2 ならコープ気付
TEL (0742)34-3535
FAX (0742)34-0043

山の辺の道を歩く PART-11



＜石上神宮＞

山の辺の道を更に北に進み石上神宮の境内に近づくと、高い杉木立ちからは木洩れ日が落ち、すがすがしさが身をつつむ。石上神宮の境内は古代の雰囲気そのままに残したところだ。拝殿を囲む回廊の朱が周りの樹々の緑に映えて一段と鮮やかである。

このあたりは縄文・弥生時代の遺跡もあり、大和政権成立以前から神聖な地とされていたのかも知れない。この地は古代大和政権の軍事面を司った物部氏の管理した軍事拠点であり、^{ななつさやのたち}一大武器庫としての性格も持っていた。今も4世紀に百濟で作られたという銘の入った七支刀が伝えられ、朝鮮半島との交流を物語っている。

'97 奈良県市民平

550 余名が一緒に歩きました

'97年度はならコープから初めての女性通し行進者3名を1か月ずつのリレーで送り出しました。

5月7日に東京夢の島を出発した「'97市民平和行進団」が6月26日に奈良県入りしました。天候にも恵まれ事故もなく全員元気に6月30日まで県内を歩き通しました。4日間の行進に際し奈良県・大和郡山市・三郷町・王寺町でそれぞれ激励の挨拶をいただきました。

この間行進以外にも盛り沢山の企画があり、ならコープの実行委員の皆さんの奮闘がありました。又大学生協の学生が4日間の通し行進に参加し、平和のつどいにも多数の参加がありました。わかくさの会の皆さんによる冷たいお茶の接待や、ならコープ本部や各お店では職員・理事による創意ある出迎え送り出しがありました。

●26日(休) 般若寺にて京都より引継ぎ集会があり、繁田会長の挨拶等があった後出発、奈良県庁前などを通りならコープ本部まで117名の参加で行進し本部到着の後わかくさの会のみなさんとの交流会をもちました。交流会には80名の参加がありました。



引継ぎ集会での繁田会長のあいさつ



ノントン・アンパンマンも行進

●27日(金) 県民生活課北岡課長、瀧川専務の挨拶のあと143名の参加で県庁前を出発、途中労済生協前で休憩して、右手専務の歓迎の言葉をいただき、大仏殿前広場まで行進しました。又、夜は女子大生協で平和のつどいがあり高専生協の学生をふくめ50名が参加しました。

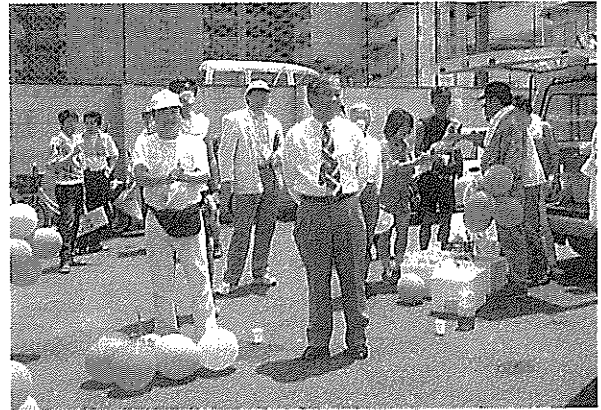


県庁前での瀧川専務のあいさつ

和行進を終えて



横断幕を持つての行進



労済生協右手専務歓迎のあいさつ



女子大生協での交流会

●28日(土) 心配されていた台風の影響もなく大和郡山市役所前出発、JA片桐女性センターで休憩しコープいまごまで行進、参加者は145名でした。夜は労組による交流会があり、わかくさの会の岡さんの体験談を聞きました。蒸し暑い時期、労組職員によるかき氷が好評でした。参加者は110名でした。



大和郡山市役所前で出発の準備

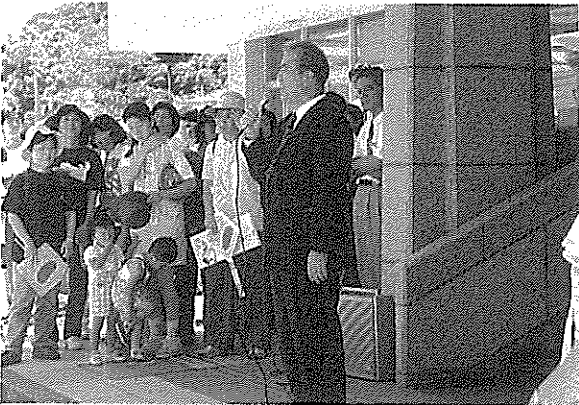


いまご店での労組による交流会

●29日(日) コープみみなしで平和コンサートが開催されました。わかくさの会の大藤俊栄さんの被爆体験談や平和の会による人形劇、手話を交えた歌や踊りで大いに盛り上がりました。子供達を含めて119名の参加がありました。



村城常任理事と通し行進団のあいさつ



井上弘王寺町助役のあいさつ



わかくさの会市原会長のあいさつ



こんぺいとうファミリーコンサート

●30日(月) 147名でディアーズコープたつたがわを出発、三郷コミュニティセンターで三郷町秘書課坂本課長のあいさつの後王寺町役場に到着し'97奈良県市民平和行進終了集会を行った後、90名がバスに乗って大阪柏原市役所まで見送りました。引継ぎ集会では、わかくさの会の市原さんの挨拶がありました。

— 報告集会 —

8月25日(月)コープみみなしで平和行進報告集会があり職員、組合員、子供達合わせて130名の参加者がありました。三人が歩いて見て来た基地や爆弾庫等のスライドを見たり、ヒロシマ行動の報告がありました。



通し行進者から

コープみみなし 星野 雅世

こんにちは、私はならコープ、コープみみなし店のチェッカーをしています星野雅世です。

私は、5月7日東京夢の島第五福龍丸展示館前を出発し、6月4日の1ヶ月間ならコープの代表として歩かせて頂きました。

私の歩いた東京・神奈川・静岡は、在日米軍基地が多い所で、たくさんの事実を知りショックを受けました。いつ戦争がおきてもすぐ対応できるよう設備が整っていること、私達の知らないところで核兵器が持ち込まれていることなど、行進に参加して初めて知ったことがたくさんありました。

又、県内行進の時には炎天下の中、かわいいぬいぐるみ(猫のノントン)をかぶっての行進、大学生、被爆者の方との交流などいろいろな取り組みもあり、楽しく行進させて頂きました。

行進はもう終わりましたが、私が見て来た事、知った事はたくさんの方に、これからの世代の人々にも伝えて行ってほしいと願います。私も、もし自分に子供ができたなら、その子に写真などを見せながら、昔日本で戦争があったことなどを話し、「戦争ってね…」「平和ってこんなんだよ」と、今回経験してきたことを自然に話していきたいと思います。本当に貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。



村田典子さん・寺前公恵さん・星野雅世さん

ディアーズコープたつたがわ 村田 典子

6月4日～7月7日までと広島を歩いて本当に多くの人と出会いたくさんの話を聞きました。出会ってきた人みんなが同じ一つの思いをもっているということにすごく感動しました。愛知県では共同作業所の方と歩きました。言葉を話すことにハンディキャップをもった方が「平和が好きです。戦争は嫌いです」と必死に訴えている姿を見て、行進団みんなが勇気づけられました。私がおもっていた「一ヶ月大丈夫かなあ」という不安もふきとばしてくれました。最後に「みなさんの思いは必ず広島、長崎、世界へ伝えるから」と言うのと「絶対ね」と、笑顔で送ってくれました。

多くの方に思いを託されて広島に到着した、これからが私達の役目のスタートなのだ、聞いてきたことを伝えていく、多くの方と思いを伝えていくこと…。これから頑張っていきます。この1ヶ月間で自分の気持ちが大きく変わりました。ひとまわり大きく成長したように思います。本当にありがとうございました。

桜井支所 寺前 公恵

8月4日晴天。本当に多くの方に励まされ、終結地である広島の平和記念公園まで歩き通すことができました。本当にありがとうございました。

8月6日午前8時15分。今回初めて広島の平和公園でこの時を迎えました。今までとは全然違う思いで黙祷をしました。行進中に被爆者の方々に話して頂いた多くの悲惨な証言が今、正にこの足元でこの瞬間に起きたんだと思うと、本当に恐ろしくなり、祈りを捧げずにはいられませんでした。

原爆が落ちた時の悲惨な写真や絵は、これまでも沢山見してきましたが、どこか人事のような気持ちがありました。もしあの写真の中の方が、自分の家族や友人、そして愛する人だったらと思うと、黙祷していた私の全身に鳥肌がたったのを憶えています。

私は核兵器の恐ろしさと原爆の悲しみ、戦争に奪われてしまった人間の心を知った以上、もう今までのように無関心でいるわけにはいきませんし、一人でも多くの人に、この行進で学んだことを伝え、戦争が二度と起きぬよう、もう二度と戦争によって無差別に人が殺されぬよう、声を大にして平和の尊さを訴えていきます。

平和行進を終えて

ならコープ平和の会 上田 和代

スピードと快適さが求められる風潮の中で90日の時間をかけて東京から広島まで、平和行進が展開された。

この行進を引っばているのは、東京から歩き続けている通し行進の人達である。我ならコープの、星野・村田・寺前さんの顔もある。程よく日焼けした脚がスニーカーによく似合う。それがバネのように躍動する。「こんにちは、平和行進です」その声につられて、私達の足も軽くなる。シュプレヒコールにも力が入る。

「核兵器をなくそう！」

「青い空・青い海を子供達に残そう！」

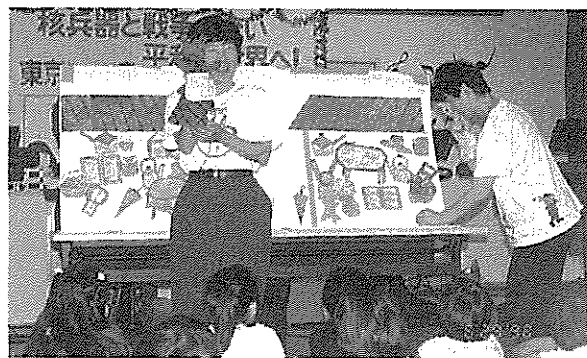
みんなで歩く、みんなで歌う私達の願いを声をはり上げて叫ぶ、共に汗をぬぐう。その後には、胸につかえていたものが、とれたような壮快さが残る。しかし昨年の中国、フランスの核実験に続いて、今年は、平和行進中にアメリカが、未臨界核実験を実施した。核の力で平和を維持しようとする核保有国間の競争である。まだまだ道は遠いことを思い知らされる。言葉にならない怒りが込み上げてくる。早速抗議のはがきをアメリカ大使館に送る。

今年、平和の会では、何かいただいたら(有形無形を含めて)感謝の気持ちを込めて

反核平和のつどい

沖縄からの平和メッセージ「沖縄戦の実相を語り継ぐ」というテーマを掲げ、奈良YMCA国際・平和委員会主催、奈良県生協連等協賛で、第13回反核平和のつどいが8月1日奈良県文化会館で開催されました。

新川 初さんの講演「ひめゆりたちの沖縄戦」と映画「GAMA 月桃の花」の上映がありました。午前、午後と合わせて120名の参加がありました。



寸劇「おかえし」での上田さん(左)

何かお返しをすることにこだわった。寸劇「お返し」の三部作は、一部は絵本から、あとはみんなで考え、拍手をもらった勢いでアドリブも加えた。

平和行進の人々からもらった元気のお返しには、縫いぐるみのノントン・タヌキ、それに今年からアンパンマンも登場した。

通し行進の人達には、奈良を訪れた機会に古都奈良とその戦いの歴史を感じてもらえたらと、浜田先生を講師に、奈良公園の散策を企画した。なら公園が興福寺の田畑であったことやそれを守ってきた人々の思いが感じられた。

何か働き掛けると、そこから何か返ってくる。形ある物に限らず気持ちが通い合うことも。

平和行進がずっとずっと続いて、それに関わった人々の間に、気持ちのお返しの輪が広がっていくことを願っている。

さて、来年はなにをしようかな。



講演をする新川初さん

学生委員会の取り組み

樟蔭女子短期大学 生協支援を通じて

奈良教育大学生協 徳永 真人

6月5日（火）、樟蔭女子短期大学生協（以下樟蔭生協）初めての通常総会が行われました。そのときに決まった学生理事に生協で何ができるかということ話し、商科大生協の緑川と教育大生協徳永を中心とした奈良のメンバーで樟蔭生協の学生による活動を支援していこうと言うことになりました。

樟蔭生協の問題として、食堂のレイアウトが何とかならないかという意見が出ていました。まず、組合員が普段どう思って店舗を利用しているかのアンケートの実施・集計、結果の理事会報告、そして組合員の意見を聞くために利用者懇談会をやるということになりました。実際の取り組みが始まりましたが、支援と言っても具体的に私たちが何をしようというわけではありません。彼女たちが活動する上で行き詰まったときの相談相手になってあげられたぐらいで、アンケートづくりから集計まで、すべての作業は彼女たちによるものでした。アンケートを作るまで1週間弱、集計するのに1週間、その後の利用者懇談会までも1週間と短く、夜遅くまでポスター

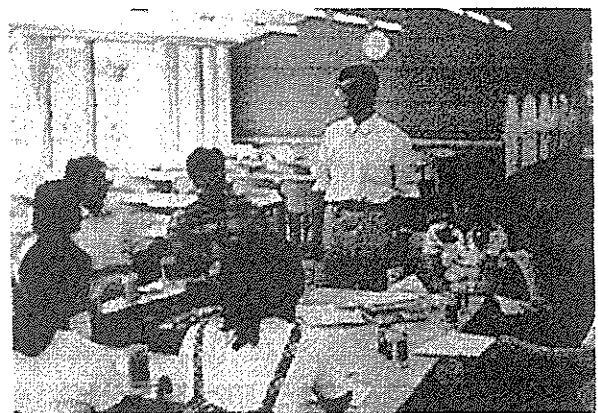


夏祭りでの徳永さん（左）

を作っていた日もあったそうです。

そして7月2日（水）、「茶話会」と題して利用者懇談会を行いました。参加者は身内がほとんどでしたが、今の大学に対して抱いている不満が出され、生協としてどのようにかかわって行けばよいのかという話になり、これからの活動のためになるものとなりました。

秋以降の活動として、「インターネット講習会」や「就職メイクアップ講座」をやりたいね、という話になっています。私たちが今までとかわらずあたたかい支援を行っていきたいと思います。



「茶話会」風景

— 広がる協同・くらしの輪 —

協同組合デーのつどい

7月15日第5回協同組合デーのつどいが農協会館に於いて開催され、67名の参加がありました。主催者代表の高田委員長と来賓の吉川奈良県林政課主幹の挨拶の後、ならコープの理事による環境クイズで笑いを誘い、大阪大学基礎工学部の森住明弘先生から「環境問題と協同組合の果たす役割」というテーマで講演をいただきました。

尚、参加団体は以下のとおりでした。

奈良県四農業協同組合連合会
奈良県森林組合連合会
奈良県農業協同組合中央会
奈良県信用農業協同組合連合会
奈良県経済農業協同組合連合会
奈良県共済農業協同組合連合会
京都工芸繊維大学
奈良県生活協同組合連合会
市民生活協同組合ならコープ



高田委員長のあいさつ



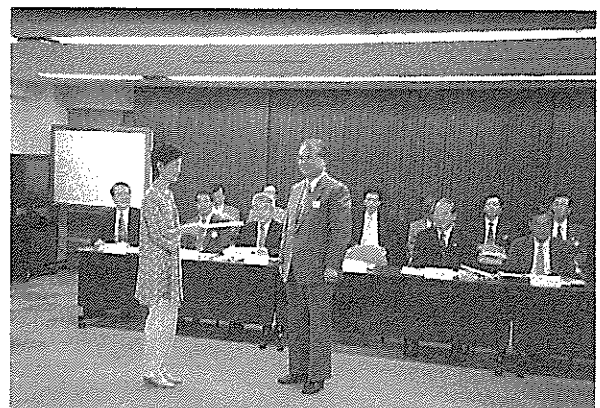
講演をする森住明弘先生

労済生協女性理事誕生

7月30日、労済生協総代会において、仲宗根迪子県連理事が初めての女性理事に就任しました。

関電・大阪ガスとの事業経営問題懇談会

8月27日、関西電力、大阪ガスとの懇談会が各本社であり、ならコープから吉田頼子理事、川上秀子理事、こむらいふから大西桂子さん、県連から入口事務局長が参加しました。主に、地球環境保全についての考え方や実践報告、COP3に向けた二酸化炭素削減計画と支援活動等の意見交換が行われました。



大阪ガスの有本専務より回答書をいただく
関消懇坂本代表世話人

大学生協の夏祭り行われる

夏休み前のひととき各大学生協では夏祭りが開催されました。教育大生協ではチャイナ服を着た学生委員が模擬店のチケットを売るなどの活躍がありました。また、ビンゴゲームなどで楽しんだ生協もあり、楽しい交流のひとときを持ちました。



教育大学の学生委員の皆さん



夏祭りは浴衣姿で

各大学での参加状況

7月4日 奈良女子大学生協 参加者 約 200名
7月11日 奈良教育大学生協 参加者 約 180名

7月17日 県立商科大学生協 参加者 約 90名
7月17日 奈良高専生協 参加者 約 30名

近畿地区生協・行政協議会

9月3日～4日大阪都ホテルで第9回近畿地区生協・行政合同会議が開催されました。厚生省の小林信雄生協監査指導官から「生協指導概況と問題点」についての報告、日生協の布藤明良常務から「21世紀ビジョンをめぐる生協活動の課題」についての報告があり、各府県連から、テーマである 1、生協の福祉活動の促進 2、環境問題に果たす生協の役割と言う視点で実践報告がなされました。奈良から、ならコープにおける特別養護老人ホーム建設準備に関わって瀧川専務が報告を行いました。政策立案から高齢者福祉政策答申、そして福祉3ヶ年計画の実行の決議を経て、用地の確保、特別養護老人ホームをつくる会の結成、あすなら福祉募金の取組み、地

元合意とりつけの運動等、紆余曲折がありながらも、組合員、職員、理事の粘り強い活動で着実に前進をしていることが報告されました。

4日は、鶴見緑地にある「生き生き地球館」と「咲くやこの花館」の視察を行いました。各府県行政の御担当と生協連で36名の参加がありました。



自然災害に対する国民的保障制度を求める 国民会議・奈良県民会議の署名活動と現在 の取り組み状況について

署名取り組みの背景

阪神・淡路大震災からまもなく3年になろうとしていますが、被災者の住宅事情は、未だに避難所生活を続ける方もあり、仮設住宅に入居できた多くの被災者も自らの住宅再建に目処がつかず、将来に希望が持てない厳しい生活を強いられています。これら被災者に対する保障の問題とともに、今後いつ私達に降りかかってくるかも知れない災害のことを考えると、住宅再建も含めた何らかの国民的保障制度が必要ではないかということで全国で署名運動に取り組んできました。

署名運動の到達点

多くの団体との共同の署名活動の結果、奈良の生協で112,602人、全国の生協で13,657,043人、「国民会議」全体で24,828,964人もの署名が集まりました。「国民会議」は、この国民の大多数が支持する署名を携え、2月20日、国に審議会の設置を要請しました。

現在の政府の考え方

- 1) 国家が個人住宅を保障することには困難がある。
- 2) 国家財政が逼迫しており厳しい。
- 3) しかし、2,500万署名は重く受け止め、「全国知事会」の動向や「日本を地震から守る国会議員の会」の動向等で総合的に判断し検討したい。

以上が政府の考え方です。

自然災害に対する国民的保障制度を求める「国民会議」及び「奈良県民会議」の現在の取り組み

「国民会議」では、上記の政府の不透明な回答に対して、いつ、どこで、いつ頃までにといった具体化が必要なため、政府のよりどころとなっている「全国知事会」と「日本を地震から守る国会議員の会」への働きかけを強めています。また、「奈良県民会議」では、柿本知事に全国知事会で働きかけを強めてもらうよう、及び、地元選出の国会議員全員に期限付きで「審議会等の設置」に引き続きご尽力いただくよう、7月14日～16日にかけて要請行動を行いました。そして、8月28日「日本を地震から守る国会議員の会」が開催され国民会議として基金の趣旨説明を行い災害支援基金創設へ討議が開始されました。

今後の見通し

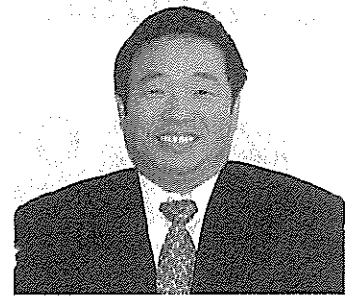
「日本を地震から守る国会議員の会」では財源確保の課題で独自案づくりを進める考えで、9月末の臨時国会での議員立法案提出をめざしています。

<記 8月29日>

奈良県生協連事務局長 人口俊彦

「食の安全と健康」をテーマ に16万人組合員の学習運動 を進めています

ならコープ組合員活動室 室長 菅 正光



今、食の安全をめぐる不安の声と大きな関心が寄せられてきています

その中でも遺伝子（DNA）組替え食品の安全性をめぐる議論は最たるものです。厚生省はすでに15品目の遺伝子組替え食品の安全確認をおこない、輸入が開始されています。ならコープは5月に消費者の選択の自由の権利を保障していくための表示制度や長期にわたる検査体制の確立、情報公開など4項目を厚生省、農林省に要請しました。

又、O-157やサルモネラ菌などによる食中毒も広がりを見せています。こうした食中毒菌への対応は食品衛生に対する正しい知識と安全対策の徹底を国民全体で進めていくことが基本となります。

ダイオキシン汚染問題や狂牛病問題なども、重大な課題になっています。

95年に食品衛生法が改正され天然添加物が指定制になったことや農薬の残留基準が設定される等大きな変化が生まれている中、食品の安全・衛生行政の抜本改正も課題となってきています。

ならコープの食の安全と健康の取り組み計画について

ならコープでは第5次長期計画（1997年から2001年の5ヶ年計画）で食の安全と健康の課題を生協運動の中心にしっかり据えること、持続的・系統的に取り組みを進めていくことを確認しています。そして、昨年からの食の安全推進チームを、今年度は組合員が参加する食の安全プロジェクトを設置して、食の安全と健康の取り組みを本格的にスタートしています。ならコープの当面の取り組みについては、

①秋の班長会（9月から10月）で食の安全と

健康をテーマで取り上げ500会場、14000人以上が参加しての大学習会を実施しています。班長会実行委員会は5月から3ヶ月かけて、討議資料の作成、学習ビデオの作成をすすめています。タイトルを『だいじょうぶ？私たちの食生活』にしています。班長会終了後には班会の開催と学習を呼び掛けています。

- ②食の安全プロジェクトに呼びかけて組合員、職員の自主学習会、ミニ学習会などを組織していきたいと考えています。目標は100会場程度。ミニ学習会を数多く開催していただけるように、組合員の講師20から30人程度の養成を考えています。
- ③コープ商品・産直商品開発の歴史や特徴を学んでいくこと、を通してコープ商品に対する信頼をさらに高め、コープ商品の利用を広げていきたいと考えています。
- ④奈良県、地方自治体の食の安全行政の実態を調査すること、自治体との話し合いや交流・懇談活動をすすめ、食の安全行政の前進に貢献していきたいと考えています。
- ⑤日生協に結集して、食品衛生法の抜本改正にむけての取り組みも進めていきたいと考えています。

以上簡単にならコープの当面する取り組みや考え方を報告しましたが、運動はまだ緒についた段階です。また、1つ1つの課題が大きくて解決が困難であったり、意見が分かれるなど難しい問題ばかりです。しかし、食の安全は人が人として生きるための原点ともいうべき最重要課題です。観念的な議論だけでなく、科学的な判断についてもしっかり学び、消費者にとっての安心、安全の評価をしっかりとっていく必要があります。ならコープとして、16万人組合員とともにじっくり考えじっくり行動していきたいと考えています。

Environment (環境)

12月COP3に向けて

～COP3実行委員より～

ならコープ理事 豊島 すみ子



地球温暖化防止京都会議にむけて、ならコープでは6月から実行委員会を立ち上げ、学習を始めています。

みんなで学習を進めながら、驚いたこと、考えさせられたこととお話します。

私たちが今のままの生活を続けると、地球の温暖化は加速し、100年後の平均気温は、現代よりも2℃上がると、植物は600km移動しないといけないので、進化が追いつかず自然の生態系は壊されてしまいます。

海水は熱膨脹し、氷河もとけるので海面の水位は年々上昇し、2100年までに15～95cm上昇すると予想されています。海面が1m上がると、日本の海岸線の9割が沈んでしまうと言われています。

陸地では、水の循環が活発になり、集中豪雨や洪水が多発する一方、土地が乾燥し、干ばつが激化する地域が出るなど、水資源のバランスが崩れると予想されています。

日本の人口は世界全体の約2%にすぎませんが、二酸化炭素排出量は3.43億ト/年で世界第4位、全世界の二酸化炭素排出量の4.9%を占めています。このうち、家庭で使用する電気、ガス、灯油、ガソリンなどから排出される二酸化炭素は、日本全体の排出量の約18.7%を占めています。

90年から94年までのあいだに一般家庭から

の排出量は16%も増加しており、国全体の排出量の増加率約7.2%を上回っています。

COP3実行委員会では、寸劇チームを作り、これからの問題を分かりやすく伝え、私たちが毎日の暮らしの中で出来ることを、一緒に考えていきたいと思っています。

又、この秋開かれる班長会でも気候温暖化についてお知らせし、「私はこれをします」「私はこれを望みます」として、①私の誓いと②企業や行政への提案の2つの募集を行います。

これらを集約してならコープ宣言としてまとめ、11月7日開かれるカンヌ映画祭・新人監督賞を受賞された、河瀬直美さんの公開講演会で発表したいと思っています。

地球という大きなテーマに思いをはせながら、一人一人が出来ることから行動する。

私達消費者の約7%の人の消費行動が変われば、お店の売り場づくりや商品づくりに影響を与えることが出来るのだそうです。

一人一人が自分の暮らしを見直すことを基礎にしながら、「心豊かな自然と共生する人間社会」をめざす新しい価値観を織り込んだ暮らしや、そういう暮らしが営める社会をみんなで作っていききたいと思っています。

Welfare (福祉)

高齢者福祉に本格的に 取り組み始めて

ならコープ副理事長 仲宗根 迪子



ならコープが福祉政策を策定し、高齢者問題に取り組み始めて3年弱、実にいろいろのことを知り、考えさせられました。

高齢者問題ってだれの問題か？多くの人は自分の問題と気付いていません。かつては身近にお年寄りがいて、年を取ればどうなるかを知り、接し方を自然に身に付けたもの。平均寿命が男女とも世界一になって、体も意識も自分の意思どおりに働けばいいですが、衰えていく中での年月は心細いことでしょう。高齢者問題は自分の問題だけれどもどうしても人の支えが必要になります。

多くの人はその支えを当然家族に求めます。家庭科の教科書に多様な家族のスタイルを載せるかどうかで議論があるようですが、かつての大家族制度が主流でなくなった現在、老いの支えを家族だけに求めるのは難しくなっています。そして家庭内のことを家庭外に出すことに躊躇します。

自立している高齢者に対しても、介護を必要としている人や家族に対しても地域社会のサポートシステムが整いつつあります。財源は？人材は？施設は？と問題は山積みですが、

なにより世代間の受け止め方にギャップが大きく、今のお年寄りには気持ちの切り替えが大変です。“人様のお世話にならない”気持ちは大切ですが“困った時はお互いさま”でサービスを上手に利用されればと思います。

特養ホームを建設するに当たっての地元同意をいただくため何回か地域訪問活動をしました。そのお話の中でこうした施設はまだ人の心に受け入れられていない、と実感しました。保育所や小学校が子供達に必要なように、早く老人施設も地域に必要な施設として受け入れられることを願います。

そのためにはこうした施設も変わらなければ！生協が果たす役割はそこにあり、地域のためというより、そんな施設があちこちに増え、老いても安心！と言えることが大切です。

紆余曲折があり、近隣自治会のご理解があって、申請書類がやっと整いました。ご苦労くださった役員の方々に感謝申し上げます。これで資金計画も進み、厚生省の認可が下りれば、1999年オープンに向けて大きなステップを踏みだします。是非 募金にご協力を！

県連活動 A r e ・ K o r e

奈良女子大学生協

今年の夏は、ひと休み!?

奈良女子大学生協で働く職員さんのリフレッシュの為に8月2日に梅田花月に行ってきました。総勢17名の老若?男女取り混ぜて、一番前で「かぶりつき」たまには、お腹を抱えて笑い転げるのも気分爽快。明日から、また、組合員さんに笑顔を振りまこうとの気負いもなくとにかく楽しんできました。ささやかでもここからたのしめましたよ。

(小林専務理事)

奈良教育大学生協

奈良教育大学では7月末から10月初頭まで長い夏休みに入り、キャンパス内は集中講義やクラブに来る学生ぐらいで、セミの声だけが元気に響いています。生協ではこの休みを利用して、各種セミナーへの参加を通して学んだことを生かし、秋からの活動の準備を行っています。また9月の半ばには20年近く入れ換えることのなかった書籍部の棚の入れ替えを行い、後期開講に向けて楽しさあふれる書籍部として秋にはお目見えする予定です。

(疋田専務理事)

奈良高専生協

今年は野球部が念願の1回戦突破し、また吹奏楽部が奈良県のコンクールで優勝するなど学生が頑張った年でした。生協でもこれらのクラブの合宿の食事の提供などを通して応援してきました。それから今年は環境・リサイクル活動をテーマにしていますが、7月に大和郡山市清掃センターへ高専美化委員会の学生と一緒に訪問した際「大和郡山市のペットボトルリサイクルのコースに奈良高専を入れてもらえないか」との要望をしていましたが、このほど入れてもらえる旨のお返事を頂くことができました。これを契機に学校ぐるみの取り組みとして広げていきたいと思います。

(疋田理事)

県立商科大学生協

URL
<http://ha1.seikyoune.jp/home/narasyou>

奈良県立商科大学生協のホームページができました。大学や生協の案内だけでなく奈良県立商科大学だけの特色がビジュアルで分かりやすいホームページです。さあ、今すぐ商科大生協ホームページにアクセス!



(小林理事)

ならコープ

今、最も注目されている奈良県人！

河瀬直美さんの講演！

COP3地球温暖化防止京都会議記念行事の一環として、「萌の朱雀」で97カンヌ映画祭新人監督賞受賞の河瀬直美さんに講演をしていただくことになりました。『奈良・自然・自分探し』をテーマに映画撮影を通じて、自然と人とのつながりについてお話いただきます。11月7日（金）10時から奈良市史跡文化センターで行います。

この講演会では、開発途上国のNGOのCOP3参加への支援として参加費として500円の募金も行います。

申し込みは

ならコープ組合員活動室

0742-34-8735

（新田組合員活動室課長）

労済生協

全労済では、96年度までに3回行いました。3級ホームヘルパー養成講座を、97年度からは2級ホームヘルパー養成講座とし、6月3日より開講しました。

今までの3級に比べるとカリキュラム全体の時間が長く、特に実技・実習の比重がおも

く、実習受け入れ施設への交渉等でカリキュラムの組立段階から時間が掛かりました。

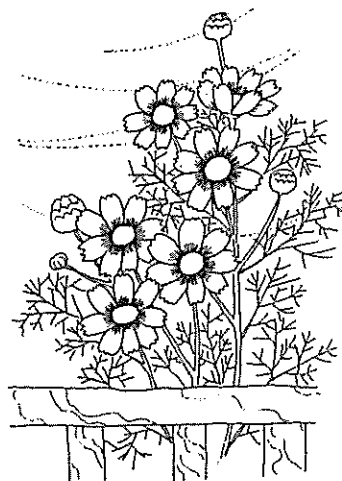
しかし、30名の受講者で始めた講座も、8月1日には29名が無事終了し、講師を含めささやかな修了パーティーを開催しました。その席上、受講者一人一人から感想や今後の抱負が述べられ、全労済としての今後の課題であります「ヘルパー派遣」を考えるうえで、大変たのしく感じました。

今後は、1年度1講座開催を基本に続けますが、年度の関係上、次回2級ホームヘルパー養成講座は、1999年2月頃の予定です。

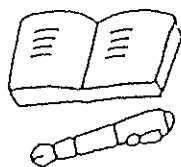
又、今年4月より実施しております「自賠責共済」のキャンペーンを9月に定め、宣伝強化や加入拡大に努めます。

今ご加入の自賠責保険が満期を向かえられる方は、全労済の「自賠責共済」にご加入いただきますようお願い致します。

（武本事業推進二課課長）



県連日誌



-🌸-🌸-お知らせ-🌸-🌸-

6/26~30 '97奈良県市民平和行進

7/9 県民会議事務局会議 (労済生協)

7/15 協同組合デーのつどい

7/16 県連責任者会議

7/30 労済生協総代会

7/31 97年度第1回理事会

8/1 第13回反核平和のつどい

8/26 近畿地区府県連協議会

8/27 関電・大阪ガス懇談会

9/2 第2回事務局会議

9/3~4 近畿地区生協・行政協議会(大阪)

編集後期

▶平和行進報告集会で寺前さんが引用されたマーティン・ルーサーキングの「後世に恥ずべきことは、悪しき人の過激な発言ではなく、善良な人々の沈黙と無関心である」という言葉が印象的でした。 T. I

▶自由なファッション、自由な行動、自由な発言ができる今。平和が当たり前なのは、戦争で犠牲になった人々の上に成り立っているのですね。夏、信州にある「無言館」へ行って来ました。

S. Y

▶本号より新登場のこのコーナーで四苦八苦。感動も怒りも少ない日々を痛感しつつも、ただ葦のような生き方、CO₂の排出量は少ないか?と台風一過の一日COP3に思いを寄せながら。

N. Y

第10回協同組合フェスティバル

とき 10月26日(日)10時~15時
雨天決行

ところ NARAドリームランド

ひまわり号列車

とき 11月2日(日)

高田→天理→奈良→神戸

*障害者の夢をのせて奈良から神戸へと列車が走ります

ノーモア・ウォーのつどい

(太平洋戦争開戦日にあたって平和を考える)

とき 12月7日(日)10時半~15時

ところ コープたつたがわ

内容(税) 模擬授業・アニメ映画上映

COP3・列島縦断エコリレー

とき 11月26日(水)~11月29日(土)

ところ 県内各地

申し込み問い合わせは

奈良県生活協同組合連合会

TEL0742-34-3535まで

